



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

## 問題【国語】

次の言葉を右から読んでみましょう。

- (1) うとがりあ
- (2) 乳牛ーヒーコ
- (3) 国衆合カリメア

今日のテーマは、横書きです。現代日本語では、文字を書き進める方法に上から下へ書き進めていく縦書きと、左から右に書き進めていく横書きがありますね。しかし、古い書物を見ると縦書きのものしかなく、昔の写真を見ると右から左へと書き進められた横書きの看板を見ることがあります。こうして考えてみると、現在の横書きが生まれるまでにいろいろな歴史があるようです。では、その歴史について見ていきましょう。

そもそも日本での文字の書き進め方は、中国から取り入れた漢字で書かれた書物のルールに従って生まれました。中国の漢字の文章は、上から下に書き進め、下まで書き切ると、次の行を左に書いていく、現在の縦書きの規則で書か

れていました。これは巻物に字を書くときに左手に巻物を持ち、右手に筆を持つときに書きやすいからだともいわれています。日本独自の文字の仮名文字が生まれた後も長く、日本ではこの縦書きの規則に基づいて書かれていました。この時代、横書きがありませんでしたが、例外的に縦書きの1行を1文字として、1文字書くことに左に文字を書く「1行1字の縦書き」で書くことがありました。この「1行1字の縦書き」は一見すると、右から左へと書き進められた横書きのように見えます。古い写真などで見る右から左へと書き進められた横書きは「1行1字の縦書き」だったんですね。

江戸時代後半になると、西洋から様々な学問を取り入れていく中で、英語など外国語の左

## 豆知識 雑学コラム

# 日本語、横書きの歴史

から右に書き進めていく横書きを見る機会が出てきました。その結果、外国語に合わせて、左から右の横書きで日本語を書く人が少しずつ増えてきました。そして、戦後になると、左から右の横書きを官庁の正式な書類に用いることなどが定められて、現在の横書きが生まれました。

さて、もともと右から左に書いていたのを左から右にすると書きづらくなるのではと思うかもしれませんが、実際、どうでしょうか。漢字を書くときに、横向きの線は左から右に書いていきます。この動作を考えると左から右に書いていく方がスムーズに書き進めることができますよね。

## 【解答】

国語の学習

「ま」(1)「ま」(2)

「ま」(3)